

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和6年7月16日(2024.7.16)

【公開番号】特開2022-165521(P2022-165521A)
 【公開日】令和4年11月1日(2022.11.1)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-201
 【出願番号】特願2021-70886(P2021-70886)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
 【提出日】令和6年7月5日(2024.7.5)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

識別情報の可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

識別情報がリーチ状態となった後に、前記有利状態に制御されることを示唆するリーチ演出を実行可能なリーチ演出実行手段と、

前記リーチ演出が実行されているときに、当該リーチ演出における演出の一部の態様を変化させることによって、前記有利状態に制御されることを示唆する変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、

前記変化演出が実行されることを、前記変化演出が実行されるよりも前に示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、

30

前記変化演出実行手段は、

前記示唆演出が実行されない場合であっても前記変化演出を実行可能であり、

第1変化演出と、前記第1変化演出よりも前記有利状態に制御される期待度が高くかつ実行割合が低い第2変化演出とを含む複数種類の前記変化演出を実行可能であり、

前記示唆演出および前記第2変化演出が実行される場合に、前記示唆演出によって前記第2変化演出を示唆しない割合よりも、前記第2変化演出を示唆する割合のほうが高く

前記リーチ演出実行手段は、前記有利状態に制御される割合が異なる複数種類のリーチ演出のいずれかを実行可能であり、

40

前記変化演出実行手段は、前記有利状態に制御される割合が高い特定種類のリーチ演出が実行されているときに、前記変化演出を実行せず、

前記リーチ演出実行手段は、前段リーチ演出と、該前段リーチ演出が実行された後に実行される特別リーチ演出と、を実行可能であり、

前記変化演出実行手段は、前記特別リーチ演出が実行されているときに、前記変化演出を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明による遊技機は、
識別情報の可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であ
って、

識別情報がリーチ状態となった後に、前記有利状態に制御されることを示唆するリーチ
演出を実行可能なリーチ演出実行手段と、

前記リーチ演出が実行されているときに、当該リーチ演出における演出の一部の態様を
変化させることによって、前記有利状態に制御されることを示唆する変化演出を実行可能
な変化演出実行手段と、

前記変化演出が実行されることを、前記変化演出が実行されるよりも前に示唆する示唆
演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、

前記変化演出実行手段は、

前記示唆演出が実行されない場合であっても前記変化演出を実行可能であり、

第1変化演出と、前記第1変化演出よりも前記有利状態に制御される期待度が高くかつ
実行割合が低い第2変化演出とを含む複数種類の前記変化演出を実行可能であり、

前記示唆演出および前記第2変化演出が実行される場合に、前記示唆演出によって前
記第2変化演出を示唆しない割合よりも、前記第2変化演出を示唆する割合のほうが高く
、

前記リーチ演出実行手段は、前記有利状態に制御される割合が異なる複数種類のリーチ
演出のいずれかを実行可能であり、

前記変化演出実行手段は、前記有利状態に制御される割合が高い特定種類のリーチ演出
が実行されているときに、前記変化演出を実行せず、

前記リーチ演出実行手段は、前段リーチ演出と、該前段リーチ演出が実行された後に実
行される特別リーチ演出と、を実行可能であり、

前記変化演出実行手段は、前記特別リーチ演出が実行されているときに、前記変化演出
を実行可能である、

ことを特徴とする。

他の遊技機は、識別情報（例えば、飾り図柄）の可変表示を実行し、遊技者にとって有
利な有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能な遊技機であって、識別情報がリー
チ状態となった後に、有利状態に制御されることを示唆するリーチ演出（例えば、スーパ
ーリーチ）を実行可能なリーチ演出実行手段と、リーチ演出が実行されているときに、当
該リーチ演出における演出の一部の態様を変化させることによって、有利状態に制御され
ることを示唆する変化演出（例えば、タイトル表示や字幕表示、飾り図柄、カットイン表
示の表示色を通常色（白）から青色や緑色、赤色、金色に変化させるチャンスアップ演出
、バトル演出において敗北状態から勝利状態に変化させるチャンスアップ演出（復活）な
ど）を実行可能な変化演出実行手段と、リーチ演出が実行されるときに、いずれのリーチ
演出が実行されるかを特定可能に示唆し、実行されるリーチ演出においていずれの変化演
出が実行されるかを特定可能に示唆する示唆演出（例えば、リーチ用ストック演出とチャ
ンスアップ用ストック演出とを実行するストック演出）を実行可能な示唆演出実行手段と
、を備え、リーチ演出実行手段は、リーチ演出として、第1リーチ演出（例えば、スーパ
ーリーチA、B）と、該第1リーチ演出よりも有利状態に制御される期待度が高い第2リー
チ演出（例えば、スーパーリーチC）とを含む複数種類のリーチ演出を実行可能であり
、変化演出実行手段は、変化演出として、第1変化演出（例えば、チャンスアップ演出（
タイトル））と、該第1変化演出よりも有利状態に制御される期待度が高い第2変化演出
（例えば、チャンスアップ演出（復活））とを含む複数種類の変化演出を実行可能であり
、変化演出実行手段は、示唆演出が実行されない場合であっても変化演出を実行可能であ
り（例えば、ストック演出を経ない非鍵チャンスアップ演出を実行可能である）、示唆演
出実行手段は、第1リーチ演出が実行されるとともに当該第1リーチ演出の実行中に第1

10

20

30

40

50

変化演出と第2変化演出とが実行される場合に、第1リーチ演出の実行を示唆する示唆演出を実行したあとに、第1変化演出が実行されることを示唆する示唆演出よりも、第2変化演出が実行されることを示唆する示唆演出を高い割合にて実行する（例えば、図8-7に示すように、スーパーリーチAが実行されるとともにチャンスアップ演出（タイトル）とチャンスアップ演出（復活）とのいずれも実行される場合、チャンスアップ用ストック演出において、チャンスアップ演出（タイトル）よりもチャンスアップ演出（復活）が示唆される割合が高い）。

期待度が低いリーチ演出に重ねて弱い変化演出を示唆してしまうと、極端に期待度が低い演出構成であることが可視化され、遊技者を落胆させる虞がある。そこで、実行される変化演出として、期待度が低いリーチ演出に対しては強い変化演出を示唆する割合を高めることにより、遊技者を落胆させてしまうことを防止する。

10

20

30

40

50